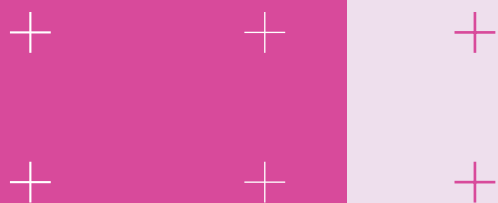


ARISAKA

Interim Business Report



第 **27** 期

中間事業報告書

平成16年4月1日 > 平成16年9月30日まで

株式会社 **アリスカ**
証券コード 2328

To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役 有坂 順三

多様化する娯楽へのニーズに 大型複合施設の醍醐味で応える。

>> 事業全体の効率化を進めました

当中間期は、積極的なスクラップ・アンド・ビルドを実施しました。平成16年4月にゲーム、ボウリング、カラオケなどからなる複合施設「ジョイプラザ新宮店」(福岡県糟屋郡新宮町)を開設、同じく4月に「アーバンスクエア草津駅前店」(滋賀県草津市)、6月に共同店舗*「アーバンスクエア与次郎店」(鹿児島市)を開設しました。また、7月には「アーバンスクエア一番街店」(宮崎市)をリニューアルオープンしました。この間、不効率店5店舗の閉鎖を行ったことにより、当中間期末の店舗数は直営店30店舗、共同店舗3店舗の計33店舗となりました。

売上高は31億36百万円(前年同期比24.6%増)、営業利益は大型店の開設に伴う費用の増加はあったものの3億55百万円(同22.8%増)、経常利益は2億22百万円(同16.1%増)となりました。不効率店舗の閉鎖費用および「アーバンスクエア一番街店」の改装に伴う既存設備の除却損等の計上により、中間純利益は82百万円(同5.4%増)となりました。

>> 収益性の高い新規店舗に注力します

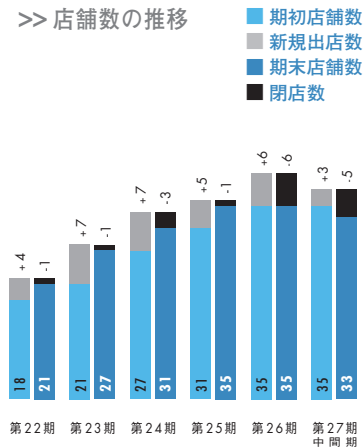
事業の拡大を目的として既存の中・小型店の不効率店舗の閉鎖を行う一方、大型単独店を中心とした収益性の高い新規店舗の開設を積極的に実施してまいります。

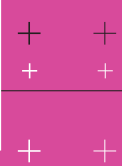
引き続き財務体質の強化を図るため、新たな設備購入債務の発生を抑えるため、市場からの資金調達も検討のうえ、投資効率の良い新規店舗の開設が不可欠であり、あらゆる方面から出店情報入手し、調査・厳選し、早期着手することを心がけております。

ビジネスチャンスを見逃さないためには、大型複合施設として地域の優良プロジェクトに参加することも当然視野に入れており、今後は、大型複合施設の開設も進めていく方針であります。

*共同店舗：共同店舗とは、出店コストとリスクの抑制を図るために、共同事業者と共同で出店を行うもの。共同事業者は建物設備、当社は機器の設置とオペレーションを行う。利益については、売上に応じた歩率契約となっている。

>> 店舗数の推移





>> 多様化するニーズに大型店で対応します

家庭用ゲーム機の普及やインターネットを含むパソコン関連ビジネスおよび多機能化した携帯電話の普及等により、人々の消費形態や行動にも変化が生じ、娯楽はますます多様化しています。アミューズメント施設においては、機器台数の少ない小型店舗が苦境にさらされています。

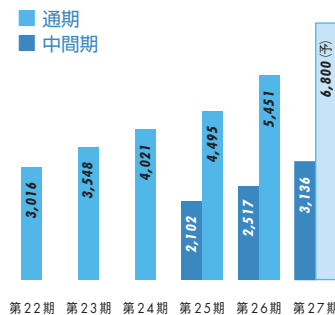
今後はアミューズメント施設でしか味わえない大型機械や最新の機種を多く設置できる大規模な店舗形態を目指します。また、お客様に納得のいくサービスと多様化するニーズに応えられる遊びの空間を提供するため、主力をゲーム事業におきながらも、ボウリング、スーパー銭湯、カラオケルーム、バッティングセンターなどの施設を併設した店舗展開、あるいは他社が運営する複合施設内にゲーム店舗を設置して、店舗の大型化を図りつつ地域一番店を目標に出店を行います。

>> 通期の見通し

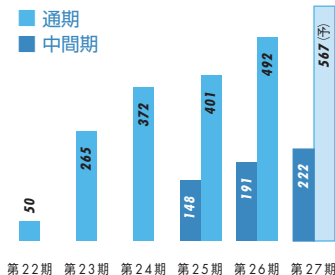
当期は、既存店の計画通りの業績と新規開設した店舗も順調な業績の推移が見込めること、および下期においてゲーム単独店1店舗および複合施設2店舗の新規開設を現時点で予定していることから、当初の予想を上回ると見込み、売上高は68億円(前期比24.7%増)、営業利益8億4百万円(同17.1%増)、経常利益5億67百万円(同15.1%増)、当期純利益は2億55百万円(同19.3%増)を予想しています。

当社は、株主様への利益還元を経営の最重要課題と考えています。当期は9月30日の最終株主名簿および実質株主名簿に基づき、所有普通株式1株につき1.2株の分割を行うこととしました。なお、当期末の配当金は当初計画のとおり1株当たり12円50銭とし、中間配当金と合わせて25円とさせていただきます。引き続き、株主の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

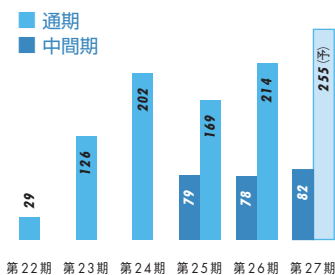
>> 売上高 (単位:百万円)



>> 経常利益 (単位:百万円)



>> 中間(当期)純利益 (単位:百万円)



Review of Operations

事業別営業概況

+	+	+	+	+
+	+	+	+	+
+	+	+	+	+

★ゲーム事業

当中間期は、不効率店舗5店舗を閉鎖しましたが、前中間期に出店した店舗の通年寄与と新設店舗および既存店舗の業績により、売上高は2,690,985千円(前年同期比30.1%増)となりました。平成16年9月末現在32店舗を運営しています。

★ボウリング事業

当中間期に開設した店舗の業績により、売上高は198,845千円(前年同期比13.6%増)となりました。平成16年9月末現在6店舗を運営しております。

★スーパー銭湯事業

夏場の猛暑と台風が客足に響き、売上高は123,523千円(前年同期比5.8%減)となりました。平成16年9月末現在4店舗を運営しています。

★カラオケ事業

当社は複合施設の集客増を目的に、あくまで利用者へのサービスの一環として設置運営しています。大手の専門業者が積極的に市場展開しているなかで、売上高は44,651千円(前年同期比8.5%減)となりました。平成16年9月末現在6店舗を運営しています。

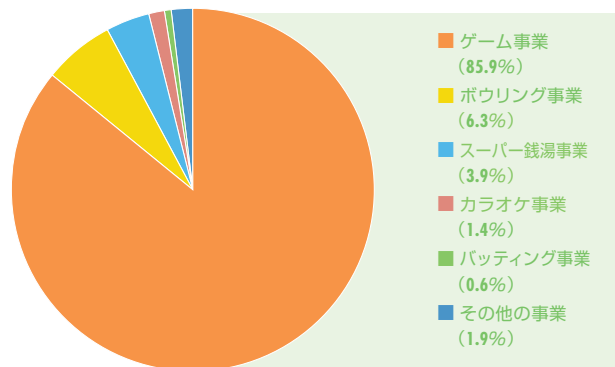
★バッティング事業

当中間期に1店舗を閉鎖したことにより、売上高は18,890千円(前年同期比21.0%減)となりました。平成16年9月末現在3店舗を運営しています。

★その他の事業

ゲーム事業面積の拡張のため、同一施設内飲食部門の売場面積の縮小およびゲーム事業に付随した業務であり、毎季変動の大きい機器売上高が前年同期比35.4%減となったため、売上高は60,102千円(前年同期比14.0%減)となりました。

>> 事業別売上高構成比



>> 事業別売上高

事業名	第26期中間期	第27期中間期		第26期
	金額(千円)	金額(千円)	対前年増減率(%)	金額(千円)
ゲーム事業	2,068,569	2,690,985	30.1	4,534,686
ボウリング事業	175,053	198,845	13.6	352,108
スーパー銭湯事業	131,180	123,523	△5.8	273,794
カラオケ事業	48,810	44,651	△8.5	96,406
バッティング事業	23,919	18,890	△21.0	40,730
その他の事業	69,922	60,102	△14.0	153,333
合計	2,517,456	3,136,998	24.6	5,451,060

>> 既存店売上昨年対比 (%)

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ゲーム事業	97.6	95.3	98.8	108.3	101.7	101.6	100.1
ボウリング事業	95.2	108.6	79.3	88.0	85.5	84.3	89.9
スーパー銭湯事業	95.9	102.3	88.5	98.3	89.9	90.9	94.2
カラオケ事業	85.5	91.5	78.0	89.5	77.2	80.4	83.4
バッティング事業	100.8	101.2	85.3	88.4	78.6	82.8	89.5
その他の事業	220.9	150.4	79.0	89.4	86.6	51.0	100.3
合計	99.6	98.0	95.3	104.3	98.9	96.3	98.3

Financial Statements

財務諸表

(単位：千円、端数切捨て)

■ 中間貸借対照表 (要旨)	第26期中間期	第27期中間期	第26期
	平成15年9月30日現在	平成16年9月30日現在	平成16年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	922,733	1,188,079	952,104
固定資産	8,603,952	9,729,052	9,125,116
有形固定資産	7,707,742	8,827,340	8,250,016
無形固定資産	124,699	97,287	110,993
投資その他の資産	771,510	804,423	764,106
繰延資産	14,502	9,775	13,600
資産合計	9,541,187	10,926,907	10,090,820
(負債の部)			
流動負債	2,415,281	2,958,251	2,965,756
固定負債	5,539,073	5,962,864	5,170,532
負債合計	7,954,354	8,921,115	8,136,289
(資本の部)			
資本金	502,250	635,150	635,150
資本剰余金	500,310	632,910	632,910
利益剰余金	578,437	735,777	679,506
その他有価証券評価差額金	6,070	7,251	7,199
自己株式	△ 235	△ 5,297	△ 235
資本合計	1,586,833	2,005,791	1,954,531
負債・資本合計	9,541,187	10,926,907	10,090,820

(単位：千円、端数切捨て)

■ 中間損益計算書 (要旨)	第26期中間期	第27期中間期	第26期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高	2,517,456	3,136,998	5,451,060
売上原価	1,987,098	2,522,748	4,316,962
売上総利益	530,357	614,250	1,134,098
販売費及び一般管理費	240,897	258,793	447,530
営業利益	289,459	355,456	686,568
営業外収益	52,102	43,291	97,933
営業外費用	150,332	176,688	291,871
経常利益	191,229	222,059	492,630
特別利益	—	1,507	—
特別損失	48,718	71,947	106,283
税引前中間(当期)純利益	142,511	151,620	386,346
法人税、住民税及び事業税	67,404	65,225	180,067
法人税等調整額	△ 3,117	3,978	△ 7,729
中間(当期)純利益	78,224	82,416	214,009
前期繰越利益	471,716	624,863	471,716
中間配当額	—	—	34,717
中間(当期)未処分利益	549,940	707,280	651,008

(単位：千円、端数切捨て)

■ 中間キャッシュ・フロー計算書(要旨)	第26期中間期	第27期中間期	第26期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	348,786	392,092	989,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 513,979	△ 893,172	△ 1,491,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	120,920	718,275	474,779
現金及び現金同等物の増加額	△ 44,272	217,196	△ 27,009
現金及び現金同等物の期首残高	441,083	414,074	441,083
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	396,811	631,270	414,074

■ 資産・負債・資本の状況

総資産は、新規出店および既存店舗のリニューアル等の設備投資の増加により、前中間期末に比べ13億85百万円増加し、109億26百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

総負債は、設備投資に伴う資金調達により、9億66百万円増加し、89億21百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

株主資本は、平成16年3月に実施した新株発行と中間純利益の計上により、4億18百万円増加し20億55百万円(前年同期比26.4%増)となりました。

■ 損益の状況

売上高は、前中間期以降に開設した店舗の売上高などにより、6億19百万円増加し、31億36百万円(前年同期比24.6%増)となりました。営業利益は、売上高の増加により65百万円増加し、3億55百万円(前年同期比22.8%増)となり、経常利益は30百万円増加し、2億22百万円(前年同期比16.1%増)となりました。中間純利益は既存店舗の建替による旧設備と不効率店等の設備の除却損により、4百万円の増加にとどまり82百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

■ キャッシュ・フローの状況

営業活動によって得られた資金は、税引前中間純利益の計上および減価償却費等の非資金費用の増加により、3億92百万円(前年同期比43百万円増)となりました。投資活動によって使用された資金は、有形固定資産の取得等による支出の増加等により、8億93百万円(前年同期比3億79百万円増)となりました。財務活動によって得られた資金は、7億18百万円(前年同期比5億97百万円増)となりました。以上の結果、当中間期末における現金及び現金同等物の残高は前中間期より、2億34百万円増加し、6億31百万円となりました。

Store Information

店舗の状況 (平成16年9月30日現在)

+ + + + +
 + + + + +
 + + + + +

>> 店舗一覧

宮崎県 (12店舗)	宮崎市	アーバンスクエア 一番街店	●			
	宮崎市	アーバンスクエア 宮崎駅前店	●			
	宮崎市	アーバンスクエア バイパス店	●			
	宮崎市	バッティングセンターA-1	●	●		
	宮崎市	アーバンスクエア 西店	●	●		
	宮崎市	スーパー銭湯がらっば湯 本郷店	●	●		
	宮崎市	スーパー銭湯がらっば湯 北バイパス店	●	●	●	
	宮崎市	ジョイプラザ 宮崎店	●	●	●	●
	都城市	都城アーバンボウル	●	●	●	●
	都城市	アーバンスクエア 都城北店	●			
	小林市	小林アーバンボウル	●	●	●	●
	延岡市	スーパー銭湯がらっば湯 延岡店	●	●		
福岡県 (6店舗)	福岡市	アーバンスクエア 西部スポーツガーデン	●	●		
	飯塚市	アーバンスクエア 飯塚店	●			
	北九州市	アーバンスクエア 小倉店	●			
	久留米市	アーバンスクエア 久留米店	●			
	大川市	アーバンスクエア 大川店	●			
	糟屋郡	ジョイプラザ 新宮店	●	●	●	●

(●ゲーム ●ボウリング ●スーパー銭湯 ●カラオケ ●バッティング ●飲食店等)

鹿児島県 (2店舗)	鹿児島市	アーバンスクエア 天文館店	●			
	鹿児島市	アーバンスクエア 与次郎店※	●			
熊本県 (2店舗)	八代市	八代アーバンボウル	●	●	●	●
	熊本市	アーバンスクエア 熊本店	●			
長崎県	佐世保市	アーバンスクエア 佐世保店	●			
香川県	高松市	アーバンスクエア 瓦町店	●			
兵庫県 (3店舗)	神戸市	アーバンスクエア タイエーハーバーランド店	●			
	豊岡市	豊岡アーバンボウル	●	●		
	朝来郡	アーバンスクエア 和田山店	●			
滋賀県	草津市	アーバンスクエア 草津駅前店	●			
愛知県	名古屋市	アーバンスクエア 大須店※	●			
神奈川県	横浜市	アーバンスクエア 横浜中華街店※	●			
茨城県 (3店舗)	水戸市	アーバンスクエア 50号バイパス店	●			
	水戸市	アーバンスクエア 上水戸店	●			
	水戸市	アーバンスクエア 駅南店	●			

合計 33 店舗

※印は共同店舗です。

New Open!

茨城県4店舗目となる 複合アミューズメント施設をオープン

10月初め、茨城県下妻市にゲームコーナーとボウリング場を併設した複合アミューズメント施設「ジョイプラザ下妻店」を開業しました。最新のゲーム機を導入したゲームコーナーは店舗面積900坪と地域最大級を誇っています。また、ボウリング場は18レーンを擁し、安価な料金体系としました。同一敷地内に大規模なパチンコ店と100円ショップ等があり、当社のコアターゲットであるファミリー層や若者を中心とした集客が可能です。下妻市は、首都圏から60キロメートル圏にあり、工業開発や宅地開発が活発で、市内を国道125号線と294号線が通るため、広域からの集客も期待できます。



ジョイプラザ下妻店

Corporate Data

会社データ (平成16年9月30日現在)



>> 会社概要

社名	株式会社アリサカ
設立	昭和51年10月9日
本社所在地	宮崎県宮崎市本郷北方2485-20 TEL. 0985-52-1314 (代表)
従業員数	社員 83名 パート・アルバイト 546名
事業内容	・アミューズメント施設の経営・企画・開発および設計・施工 ・ボウリング場施設の経営・運営管理 ・スーパー銭湯の経営・運営管理 ・カラオケシステム施設の経営・企画・運営管理 ・バッティングセンター施設の経営・運営管理 ・その他アミューズメント施設関連事業
事務所	東京事務所／東京都港区芝5-31-7 三田ステーションビルアミタ1003号

>> 役員

代表取締役	有坂 順三
専務取締役	信安 九州男
常務取締役	佐野 勤
取締役	山内 政人
常勤監査役	田中 博
監査役	枘 一生
監査役	瀧 公紀

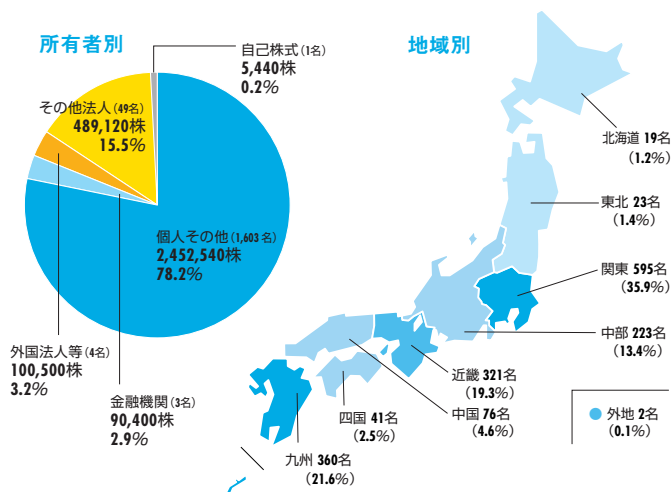
>> 株式の状況

会社が発行する株式の総数	7,860,000株
発行済株式の総数	3,138,000株
株主数	1,660名

>> 大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
有坂順三	1,036,200	33.0
有坂力	132,000	4.2
オリックス株式会社	108,000	3.4
株式会社セガ	96,000	3.1
株式会社宮崎銀行	75,900	2.4
有坂悦子	72,000	2.3
有坂久美子	72,000	2.3
高口優子	61,440	2.0
有坂史	60,000	1.9
ステートストリートバンクアンドトラスト カンパニー505019	51,600	1.6

>> 株主分布状況



株主優待

年2回、 おこめ券を 贈呈いたします。

毎年3月31日および9月30日現在の株主および実質株主の皆様に対し、お米券を年2回、以下の基準により贈呈いたします。

割当基準日<3月31日>

100株(1単元)以上1,000株未満……3kg相当
1,000株以上10,000株未満……5kg相当
10,000株以上……10kg相当

割当基準日<9月30日>

1,000株以上……5kg相当



おもに、全国の米穀店、スーパー、コンビニ等でご利用いただけます。

(注)平成16年9月30日現在の内容で記載しております。

株主メモ

決算期日	3月31日
株主総会	6月下旬に開催
基準日	定時株主総会関係 3月31日 利益配当金支払関係 3月31日 中間配当支払関係 9月30日 その他はあらかじめ公告いたします。
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先) (電話お問合せ先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5213-5213(代表)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞 なお、決算公告につきましては、日本経済新聞への公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社の下記のホームページに掲載いたします。
	http://www.arisaka.net/home.html
1単元の株式数	100株

■ お知らせ

1. 名義書換請求・単元未満株式買取請求・住所変更等に必要の各用紙のご請求は、名義書換代理人の下記の専用ホームページにて出力できます。

<http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/> お手続内容

2. 平成15年4月1日施行の改正商法により「株券失効制度」がスタートし、株券を喪失された場合の手续が従来の公示催告・除権判決により再発行を受ける手続より簡便となります。詳細は名義書換代理人(03)5213-5213にご相談ください。